

一般質問



▲安全・安心で快適な教育環境を（播磨西小学校）

地域教育協議会の内容は

答弁＝より効果的な組織に

学校評議員制度に替えて
コミセン単位で地域教育協
議会（仮称）を設置すると
しているが、学校評議員制
度の評価と、地域教育協議
会（仮称）の内容は。

答弁＝大辻教育長

学校評議員制度は、教育
目標や教育計画について意
見を求めたり、一年間の成
果を公表し評価してもらっ
たりするような取り組みに
なっている。
しかし、この範囲の制度
では地域に根ざした学校つ
くりを資することが不可能
であるため、この制度を改
め、学校外組織として地域
教育協議会（仮称）を設置
します。

避難支援プランの策定は

災害時に援護を必要とす
る障害者・高齢者などの状
況把握に努め、避難支援プ
ランの策定に取り組むこと
とあるが、その内容は。



住民クラブ代表

藤田 博

となり、内容によっては関
係職員も参加して地域の
各種団体の代表などで組織
します。

そのねらいは、学校評議
員制度のねらいの上に、地
域・家庭・学校の連携をよ
り密にし、地域あげて安全・
安心の確保のためのネット
ワークづくりや子ども達の
地域活動への積極的な参加
や、学校教育への地域指導
ボランティアの導入など、
播磨町独自の最適で特色の
ある教育を実現するため、
より効果的な組織に改編す
るものです。

答弁＝井上理事

救出から避難に至る計画

要援護者の情報収集につ
いては、国のガイドライン
で「本人からの収集が基本」
とされており、十分な取り
組みができていない。
このことから国は、自治
体向けガイドラインを改正
し、災害時の避難支援を想
定する場合には、個人情報
保護法の特例条項「明らか
に本人の利益になるとき」
にあたるとして、本人の同
意を得ずに目的外利用でき
ること、情報提供を受け
る側の守秘義務の仕組みを
構築すべきことが示された。

このことから、個人情報
保護審査会において議論す
るとともに、要援護者を
はじめ、自治会、民生児童委
員、自主防災会など関係者
と協議し、救出から避難に
至る計画として避難支援プ
ランの策定に取り組みます。

一般質問



▲4期に向けて意欲を示す佐伯町長

町長選への出馬について

答弁＝次期も町政を担当したい

本職に就任して12年を迎
えるに至っていますが、こ
の間特に地方分権一括法の
施行以来、本町を取り巻く
情勢は大きく変化しつつあ
ります。
また、社会的要請として
住民の安全・安心の確保、
少子高齢化への対応などと
共に将来のための生活基盤
の整備を図らなければなら
ません。
町行政の民主化と経営の
健全化を自己に課せること

答弁＝佐伯町長

財政的に厳しい環境を迎
える中、問題は山積みして
おりこれを乗り越え、より
高い目標をもってこれの貫
徹に向けて次期町長選への
出馬について佐伯忠良町長
の決意を伺いたい。



緑生会代表

河南 博

を決意して次期も引き続い
て住民のみなさんの信任を
得て町政を担当したいと考
えております。

子供の安全をどう守る。

去る2月17日朝、滋賀県
長岡市の静かな田園地帯で
5歳の男児と女児が刺殺さ
れた凶悪事件は、何ともや
りきれない事件です。
防犯についてはどんな手
立てを講じても、100%
安全を図れるものではありませんが、過去の事件のシ
ミュレーションの実施、郵
便局、新聞販売店、牛乳販
売店などと不審者に対する
情報提供システムの構築を
図る、あるいは、防犯組織
の未実施の自治会に対して
結成を要請するなど住民参
加型の防犯ネットワークを
図るべきでは。

答弁＝大辻教育長

関係機関との連携強化で

防犯対策については、本
町の学校でも地区懇談会を
実施したり、下校時間に合
わせPTAや各種団体が見
守り活動をしたりすること
で、危険意識、防犯意識の
向上に努めています。
不審者情報については、
行政・学校・関係機関と情
報を共有する連絡体制をと
っており、希望者へのメー
ル配信も実施しています。

また、自治会への要請に
ついては、町と防犯協会と
で各コミセンに防犯活動の
組織化をお願いしてきた経
緯もあります。
今後とも、学校・家庭・
関係機関が、また、ボラン
ティア団体が子どもの安全
を見守ることを更に連携強
化し、情報の共有化に努め
たい。